

光先端医学教育研究センター
フォトニクス医学研究部
光イメージング研究室

1 構 成 員

	平成 28 年 3 月 31 日現在	
教授	0 人	
病院教授	0 人	
准教授	1 人	
病院准教授	0 人	
講師（うち病院籍）	0 人	(0 人)
病院講師	0 人	
助教（うち病院籍）	0 人	(0 人)
診療助教	0 人	
特任教員（特任教授、特任准教授、特任助教を含む）	0 人	
医員	0 人	
研修医	0 人	
特任研究員	1 人	
大学院学生（うち他講座から）	2 人	(2 人)
研究生	0 人	
外国人客員研究員	0 人	
技術職員（教務職員を含む）	0 人	
その他（技術補佐員等）	5 人	
合計	9 人	

2 教員の異動状況

矢尾 育子（准教授）（H25.7.1～現職）

3 研究業績

数字は小数 2 位まで。

	平成 27 年度	
(1) 原著論文数（うち邦文のもの）	3 編	(0 編)
そのインパクトファクターの合計	11.05	
(2) 論文形式のプロシーディングズ及びレター	0 編	
そのインパクトファクターの合計	0.00	
(3) 総説数（うち邦文のもの）	1 編	(1 編)
そのインパクトファクターの合計	0.00	
(4) 著書数（うち邦文のもの）	0 編	(0 編)
(5) 症例報告数（うち邦文のもの）	0 編	(0 編)
そのインパクトファクターの合計	0.00	

(1) 原著論文 (当該教室所属の者に下線)

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. Konno A, Shiba K, Cai C, Inaba K.: Branchial cilia and sperm flagella recruit distinct axonemal components, PLoS One, 11;10(5):e0126005,2015 [3.234]

インパクトファクターの小計 [3.234]

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの (学内の共同研究)

1. Hossen A, Nagata Y, Waki M, Ide Y, Takei S, Fukano H, Romero-Perez GA, Tajima S, Yao I, Ohnishi K, Setou M.: Decreased level of phosphatidylcholine (16:0/20:4) in multiple myeloma cells compared to plasma cells: A single-cell MALDI-IMS approach, Anal Bioanal Chem, 407, 5273-80, 2015 [3.436]
2. Okada M, Corzo G, Romero-Perez GA, Coronas F, Matsuda H, Possani LD: A pore forming peptide from spider Lachesana sp. venom induced neuronal depolarization and pain, Biochim Biophys Acta, 1850, 657-666, 2015 [4.381]

インパクトファクターの小計 [7.817]

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

(3) 総 説

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. 矢尾育子; アセチルコリンの質量分析イメージング, Journal of the Mass Spectrometry Society of Japan, 64, 31-34, 2016

インパクトファクターの小計 [0]

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの (学内の共同研究)

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

4 特許等の出願状況

	平成 27 年度
特許取得数 (出願中含む)	0 件

5 医学研究費取得状況

(万円未満四捨五入)

	平成 27 年度
(1) 科学研究費助成事業 (文部科学省、日本学術振興会)	2 件 (83 万円)
(2) 厚生労働科学研究費	0 件 (0 万円)

(3) 日本医療研究開発機構 (AMED) による研究助成	0 件	(0 万円)
(4) 科学技術振興機構(JST) による研究助成	1 件	(1,000 万円)
(5) 他政府機関による研究助成	0 件	(0 万円)
(6) 財団助成金	0 件	(0 万円)
(7) 受託研究または共同研究	2 件	(500 万円)
(8) 奨学寄附金	0 件	(0 万円)

(1) 科学研究費助成事業 (文部科学省、日本学術振興会)

1. 矢尾育子 (代表者)、基盤研究(C)、ユビキチンリガーゼ SCRAPPER が調節するシナプス蛋白質の超解像イメージング、80 万円
2. 矢尾育子 (分担)、挑戦的萌芽研究、ステロイドホルモンの質量分析イメージングによる組織細胞上の直接可視化法の開発、3 万円

(4) 科学技術振興機構(JST) による研究助成

1. 矢尾育子 (分担)、JST 戦略的創造研究推進事業 ERATO (佐藤ライブ予測制御プロジェクト)、生体内における代謝動態の計測分析、1,000 万円

(7) 受託研究または共同研究

1. 企業 2 件、500 万円

6 新学術研究などの大型プロジェクトの代表, 総括

7 学会活動

	国際学会	国内学会
(1) 特別講演・招待講演回数	0 件	1 件
(2) シンポジウム発表数	0 件	3 件
(3) 学会座長回数	0 件	0 件
(4) 学会開催回数	0 件	1 件
(5) 学会役員等回数	0 件	6 件
(6) 一般演題発表数	0 件	

(1) 国際学会等開催・参加

(2) 国内学会の開催・参加

1) 主催した学会名

第 40 回日本医用マスマスペクトル学会年会

2) 学会における特別講演・招待講演、

矢尾育子、質量分析イメージングで何が見えるか、第 42 回 BMS コンファレンス、2015 年 7 月、岐阜グランドホテル (岐阜県岐阜市)

3) シンポジウム発表

矢尾育子、質量顕微鏡法による神経疾患モデル動物解析に向けて、第 121 回日本解剖学会総会・全国学術集会、2016 年 3 月、ビッグパレットふくしま（福島県郡山市）

矢尾育子、ユビキチンリガーゼ SCRAPPER によるシナプス可塑性の調節、第 93 回日本生理学会大会、2016 年 3 月、札幌コンベンションセンター（北海道札幌市）

矢尾育子、質量分析イメージングの実際、第 56 回日本組織細胞化学学会総会、2015 年 10 月、関西医科大学（大阪府枚方市）

4) 座長をした学会名

(3) 役職についている国際・国内学会名とその役割

矢尾育子、日本医用マスペクトル学会 評議員

矢尾育子、日本神経科学学会 会員・神経科学教育委員

矢尾育子、日本生化学会 会員・「生化学」誌企画協力委員

矢尾育子、独立行政法人科学技術振興機構 国際科学技術協力推進委員

矢尾育子、独立行政法人科学技術振興機構 ダイバーシティアドバイザリー委員

矢尾育子、東京医科歯科大学医歯学研究支援センター共用利用促進運営委員

8 学術雑誌の編集への貢献

	国内	外国
学術雑誌編集数（レフリー数は除く）	0 件	0 件

9 共同研究の実施状況

	平成 27 年度
(1) 国際共同研究	0 件
(2) 国内共同研究	0 件
(3) 学内共同研究	0 件

10 産学共同研究

	平成 27 年度
産学共同研究	0 件

11 受賞

12 研究プロジェクト及びこの期間中の研究成果概要

13 この期間中の特筆すべき業績，新技術の開発

14 研究の独創性，国際性，継続性，応用性

15 新聞，雑誌等による報道